

KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.377 2022
鹿児島ワイズメンズクラブ

5 月号

国際会長 : Kim Sang-chaе [韓国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World
 アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th
 西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦
 九州部部长 : 森 律子 [八代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ
 With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

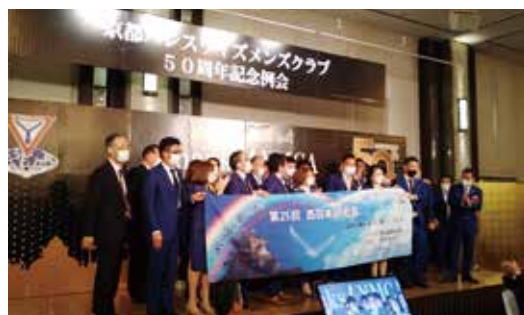
It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

京都パレスワイズメンズクラブ50周年記念例会 参加報告

5月7日(土)に京都パレスワイズメンズクラブ50周年記念例会がホテルオークラ京都で開催されました。約340名もの参加者があり、会員数が50名を超えるクラブの勢いを先ず、感じました。記念例会では入会式もあり、華を添えました。特筆すべきは、50周年記念事業の発表でした。YMCAの無いラオスにYMCAを設立するという大事業です。ラオスの地に定着すべく、YMCAホテル学校を設立し、その寄付金として日本YMCA同盟に1千万円の寄付金を贈呈するというものであります。記念事業のこれまでの経緯についての発表もなされ、それによりますと、永年ラオスの名誉領事を務められておられる、パレスクラブのチャーターメンバー、大野嘉宏ワイズのお働きによることが大きいことがわかりました。この実行力、お覚悟には尊敬するばかりでした。第二部の懇親会も門川京都市長ご本人の挨拶に始まり、盛会でした。松永ワイズと私は昨年度の西日本区の役員として十分な交流活動が出来なかったので、それを少しでも補いたいという思いもありました。リモートでは味わえない、直接、全国のワイズの皆さんとお会いできる喜びをかみしめた京都の夜でした。参加して本当に良かったと思えました。

鹿児島クラブ 中堀 清哲



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



ロシア軍がウクライナを侵略し始めて3か月が過ぎようとしています。この21世紀になって力による領土変更を実行しようとする裸の王様プーチン大統領には呆れるばかりです。過去に二度の大戦を経ても一部の人間は争いを止めようとはしません。実に悲しいことです。1905年、近代国家になって間もない日本も帝政ロシアによって今のウクライナの様になる寸前でした。1904年からの日露戦争において、日本陸軍は中国大陸で何とか際どい勝利を収めておりましたが、砲弾数や戦争遂行能力は限界でした。そこへヨーロッパからロシアのバルチック艦隊が日本の息の根を止めようとアジアへ攻めてくるのです。これを日本海軍は5月27日に対馬沖で完全に叩き潰しました。これに負けていれば、日本はロシアの植民地になっていたのではないのでしょうか。しかし、この勝利から勘違いした日本は歯車が狂い始めて、40年後には破滅の路へと転がり落ちてゆくわけです。そして今度は、太平洋戦争後はこの日本海海戦の事を語る事は永らくタブーとされてきたように思えます。しかし、こういった歴史的事実は冷静に語られるべきではないかと思えます。現在の状況だけ見て、ただ、ウクライナは可哀そう、ロシアはけしからん、というだけでなく、過去の歴史をしっかりと捉えた上で今後の日本の取るべき道に生かすべきなのではないのでしょうか。ものごとを知らないということは時に悲劇をもたらします。

去る、5月7日(土)に京都パレスワイズメンズクラブの50周年+1の記念例会に松永ワイズと出席させていただきました。実に感動すべき例会でした。詳細は別項に記載いたします。5月10日(火)には鹿児島YMCAの運営委員会と鹿児島ワイズメンズクラブの企画例会を同日開催するという画期的な試みがなされました。YMCAの新内主事からのご提案で両組織の一体化と両輪となったの活性化を図ろうとするものごとにかくやってみようということでしたが、記念すべき第1回目はとてもうまくいったのではないかと思います。全国でも例を見ない画期的な試みであると思えます。6月の鹿児島YMCA会員大会への共通の協議がなされ、有意義な会になりました。今後も継続してまいります。

ワイズメンズクラブの原点である、YMCAのためのサービスクラブとして活動するという目的に沿ったことが実現出来て嬉しく思いました。



理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future
未来への挑戦



世界銀行は4月、欧州や中央アジアの新興国経済の成長率見通しを発表しました。ロシアの軍事侵攻を受けたウクライナは2022年の実質成長率がマイナス45.1%と、記録的な落ち込みになると予想されました。日米欧から経済制裁を受けているロシアもマイナス11.2%になると見込んでいます。

ウクライナ情勢は先行きが不透明で世界経済に暗い影を落とすこととなりました。ウクライナは2021年3.4%成長から急降下となり、国際社会でのさらなる支援が必要になります。ウクライナでは、すでに1,000万人以上が侵攻のために自宅を離れ、近隣諸国には約500万人が避難しているといわれています。YMCAでは侵攻が始まった直後から、ヨーロッパYMCA同盟が中心となり緊急支援活動を行っています。

西日本区では、3月よりウクライナへの緊急支援募金のご協力を皆様にお願ひし、日本YMCA同盟に募金総額2,688,929円を送金致しました。

西日本区の皆様のご協力に感謝いたします。有難うございました。

2022年4月2日 大阪長野ワイズメンズクラブ創立45周年記念例会が河内長野市立交流センターにて開催されました。

瀧本泰行会長をはじめ会員各位の皆様へ、心からお祝いを申し上げます。45周年、誠におめでとうございます。

2022年4月2日・3日 西日本区第3回役員会ハイブリットにて開催。

膨大な資料のもと2021-22年度 西日本区第3回役員会及び2022-23年度 西日本区第1回準備役員会が、久しぶりに2日間開催で行うことが出来ました。今期、各部会や周年記念例会もことごとく中止や延期となりましたが「常にできること」形は変われど工夫すればできると捉えオンラインやハイブリットの会議を今迄以上に普及することにより、西日本区の皆様は、ウイズコロナ時代を工夫しながら乗り越え、素晴らしい活動を数多くして頂いた活動報告の発表がありました。

有難うございました。又、議案及び協議案も大変多く提出され、終了時間が遅れましたことにお詫びいたします。

4月4日 ワイズ将来構想特別委員会オンラインにて開催。

西日本区大会実行委員会オンライン会議と重なった為、私からの報告のみ記載致します。

- ①西日本区地域奉仕・環境事業委員会の提案・提言に対する回答報告。
- ②3月26日開催の西日本区オンライン交流会についての報告。
- ③第1回パーパスブランディング委員会の報告。

4月4日 西日本区大会実行委員会オンラインにて開催。

今期、コロナ禍のもと開催日程が単日開催となりました。トップスクラブと協力クラブの岡山クラブの皆様と本当に素晴らしい大会になるよう企画して頂いています。内容を掲載できないのが残念ですが、6月11日岡山でお待ちしています。

多くのご参加を宜しく願いいたします。

4月8日 歴代京都部部長懇談会 祇園栩栩膳にて開催。

2年連続で京都部部長をされている中村部長の労いと京都部部会開催のエールを送り歴代京都部部長が集まり、ワイズ談義に多いに盛り上がった懇親会でした。

4月12日 YMCAウクライナ避難民支援活動報告会オンラインにて開催。

日本YMCA同盟より今後、YMCAの支援を受けてのウクライナからの避難者の来日が続くことが予定されています。全国のYMCAやワイズメンズクラブの皆様にも受け入れ支援のご協力、さらなる募金の呼びかけをお願いしたく報告会を実施されました。

4月13日 京都トップスクラブ4月例会ハイブリットにて開催。

テレビでおなじみの武田邦彦様より「環境・エネルギー問題とこれからの日本」というテーマで基調講演をされました。日本の工学者として難しいお話かと思っておりましたが、分かり易く実りのある講演でした。

又、3名の新入会員入会式が開催されました。

4月17日 第26回京都部部会ウェスティン都ホテル京都にて開催。

2期京都部部長をされている中村部長の熱い思いが伝わる熱気・活力・感動を頂いた素晴らしい部会でした。又、京都部メネットアワーも最高でした。

4月19日 第7回東西交流プログラム委員会オンラインにて開催。

プログラム内容・予算内容について検討されました。

4月23日 彦根シャトーワイズメンズクラブ

40周年記念例会がエクシブ琵琶湖にて開催されました。
正村暁子会長をはじめ会員各位の皆様にご心からお祝いを申し上げます。
40周年誠にありがとうございます。

4月例会報告

4月26日(火) 19時から20時30分に、鹿児島市「よかセンター」で4月例会を行いました。今回は久しぶりの対面で、7人の出席があり、様々な話題が出て、集まることの良さを実感しました。対面で行いましたので、山口眞弓ワイズが久しぶりに参加されたのが嬉しいでした。

話し合いでは、5月以降の企画例会はYMCA運営委員会と一緒にすることが決まりました。といっても時間を少しずつずらして、それぞれの会は独自にする方法です。共通の時間はワイズにもYMCAにも関わる内容を話し合うというわけです。ワイズメンズクラブとYMCAの協力がうまくいっている鹿児島ならではのやり方です。

このほか会員の近況など語り合い、最後に中堀会長からウクライナの長い歴史を紐解くお話があり、勉強になりました。いろいろな背景を考えていくことの大切さを認識しました。鹿児島は感染者が高止まりしていますが、これからも感染防止に努めながら、できるだけ対面で行っていききたいものです。

鹿児島クラブ 園屋 高志

ホームレス生活者支えあうおにぎりの会

鹿児島クラブ 徳田 穰

鹿児島ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCAの会員が一緒になって行う何か良いボランティア活動がないものか、また、ボランティア活動を一緒にすることで、それぞれの会員を増やすことができないかと模索していました。

その様な折、特定営利活動法人(NPO) かがしまホームレス生活者支えあう会がホームレスを支援するために、ホームレスの方々におにぎりを配るボランティア活動をする人を募集していました。NPO法人の事務局に具体的な内容を聞いたところ、月、水、金におにぎりを20個程を作り中央公園と高麗橋付近の甲突川の左岸で配っています。そのおにぎりを20個程作り、持って行ってくれる人を募集しているとのことでした。応募するには、おにぎりを作る場所と道具が必要になります。それをどうするか話し合いを行っていたところ、会員の神村浩さんから、「元かみむらコーヒー店」として使っていた場所をおにぎりを作る場所として提供しても良いと温かい申し入れがありました。釜等の道具については、ワイズメンズクラブで買ってくれることになり条件が整いました。

このボランティア活動を実施するかどうかで一番問題になったのは、継続して実施できるか、これを契機に会員を増やす目的を達成することができるかということでした。先のことを心配していたら始まらないので、かごしまの格言「泣こかい跳ぼかい、泣こよかひつ跳べ」の精神で実施することにいたしました。

まずは、月1回、第3金曜日に実施することにしました。第1回目を4月22日金曜日「元かみむらコーヒー店」で始めました。初回ということで14時30分に集まり準備をしました。昼間の時間帯であり仕事のある人は参加できないので、その日集まったのは、神村さん、山口さん、中松さん、徳田の4人でした。ご飯が炊きあがった16時頃からおにぎりを作り出し、30分位でおにぎりはできました。それを17時前に高麗橋付近の甲突川の左岸に持っていきました。その日はホームレスの方々は6~7名でしたが、大体は10名前後が集まって来るとのことでした。

今後の課題は、会員以外の方々にどういう方法で働きかけ、会員を増やしていくことができるのか、また、月1回から複数回に増やすことができるかということだと思います。



句会 — 第二弾 —

猛暑耐え 初冬に可憐 庭の菊
龍吹きて 覚悟促す SDGS

中堀 清哲

母帰る ありし日笑顔 そのままに
年賀絶つ 若かりし頃 また想う

神村 浩

セキレイが 水を飲み来る 手水鉢
山茶屋の 枝に住着く 毛虫かな

徳田 穰

銀色の 雲に映えて 山椿
頭文字 エステイジーズ 今ブーム
孫が泣き 爺パニック 目は虚ろ
ジエンダー 爺の負担 頭痛種

松若 鉄比古

大丈夫 唱え続けて 日本一
我が身には 金の一文字 縁はなし

園屋 高志

聖き夜 紙のみ恵 世にみちて
肩寄せて キャロルを歌う 星の夜

山口 眞弓

04 定例会報告 Planning meeting report

日時：令和4年4月25日 火曜日
場所：よかセンター
出席者：6名
司会者：中堀

4月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	6名
メネット	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	1名
4月出席率	77.8%

05 企画例会報告 Planning meeting report

日時：令和4年5月9日 火曜日
19:00 ~ 20:00
場所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、松若、
新内、松永

今月の聖句

なすべき正しいことを
知っていながら行わないなら、
それはその人の罪です。

ヤコブの手紙 4-17

今月の樹

ヒメウツギ

ウツギ、バイカウツギと並んで、よく庭に植えられる代表的なウツギである。枝の髓が中空になっているので、空木と言われる。花の中をよく見ると、ウツギ類の花の雄蕊の花糸には翼が付いて、下半分が太くなっている。この翼の付き方が若干違う。ヒメウツギでは、翼の上端が角(ツノ)のように突き出している。ウツギはほぼ四角であり、マルバウツギではなで肩になっている。あとは、若い枝や葉の付け根に毛がないのも特色である。ウツギやマルバウツギでは星状毛が密生して、やや褐色を帯びている。

学名は *Deutzia gracilis* で、ユキノシタ科ウツギ属である。*gracilis* はスラッとして優美なという意味。

鹿児島YMCA報告

「第8回鹿児島YMCAチアダンススクール発表会」開催のご報告

2022年4月17日(日)、第8回鹿児島YMCAチアダンススクール発表会を開催しました。昨年に引き続きコロナ禍での開催となり、感染症対策をとりながらの発表会でした。

会場の宝山ホールには600名近くのお客様が来場されました。入場には事前に渡したリストバンドを着用してもらい、感染症予防の観点から入場者には「体調申告フォーム」に入力をお願いしました。ホワイエではサーマルカメラでの検温・密を避けるための整列・マスク・手指消毒にご協力を頂きました。

下は3歳から中学生までの出演者は第1部149名、第2部170名と分かれ、1年間の練習の成果を披露しました。2021年度もコロナ禍とあってイベント出演が減り、人前で披露する機会が少なかった中、指導者、子供たちは困難な状況でもポジティブに捉えて、この舞台を目標に頑張ってきました。子供たちの成長を見た保護者の方からは「舞台に立った瞬間に感動で涙が出た」といった声が聞かれ、子供たちも「開演のブザーの音に胸が高鳴って、見ている方も一緒に手拍子して下さったのが嬉しかった」と久々の機会を楽しめた様でした。また後半にはチアダンスの競技大会にチャレンジしているCAST Magicや、鹿児島ユナイテッドFCオフィシャルチアリーダーNAVY STARS、シニアチアリーダーのPINK BUNNYが演技を披露し、華を添えました。

【公演の様子】



競技大会出場チーム CAST Magic Faith が全国大会3位入賞

鹿児島YMCAチアダンススクールで学び、競技大会にチャレンジするためにステップアップさせたチーム、CAST Magicの中学生チーム「Faith」が2022年3月に行われたチアダンス全国大会、USA オースターナショナルズ2022(会場:千葉県幕張メッセ)に出場、部門3位という好成績を収め、そのことが南日本新聞に取り上げられました(2022年5月2日付け)。

Faithとは、信頼、信念、信仰といった意味であり、YMCAチアダンススクールの信念を体現し、仲間や支えてくれる方々と信頼関係を築き、信じることを大事にできるメンバーとして成長してほしいと名づけました。まだまだ成長過程の子どもたちですが、ひとりひとりがそれを大事に頑張っています。

6月4日の会員大会では、この子どもたちが100人規模で参加する予定です。YMCAで育てている子どもたちの成長や若さ溢れるパワーを感じながら、この子どもたちが未来のYMCA運動の担い手、そしてワイズメンになっていくよう、見守りつつ支えてください。



鹿児島YMCA 新内 博之